

特別養護老人ホーム 湯梨浜はごろも苑

1 基本方針

入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立って良質の介護福祉サービスを提案し、個別ケアを実践する。

良質の介護・福祉サービスを提供することにより入居者がその有する能力に応じ、安心して安全な自律した日常生活を営むことができるよう努める。

地域住民との交流を深め、地域に必要とされ、愛され信頼される施設づくりに努める。

2 今年度重点事業目標

(1) 個別ケアの充実

ア 「真心」「思いやり」の心を持った介護・接遇に努める。

イ 「その人らしく生きる」ということに重点を置き、認知症や障がい者の方に関する研修や事例検討を行い、理解を深めることでケアの充実を図る。

ウ 一人ひとりのニーズを把握し、個々にあった生活支援の充実を図る。

エ 季節の移ろいを感じられる行事やクラブ活動を実施し、楽しみと潤いのある生活に努める。

オ 清潔な環境を整えるとともに標準予防策の徹底と換気に努めることにより感染症の拡大を防止する。

(2) 重度化に対応するサービスの質の向上

ア 日々の体調管理と観察、情報共有に努めることで異常の早期発見・早期治療に繋げる。

イ 目指す職員像を明示し、人間力及び現場力を兼ね備えた責任感及び専門性の高い職員の育成を図る。

ウ OJTによる人材育成ができるチームリーダーの育成を図る。

エ 入居者の尊厳を尊重したケアに努めると共に、気づきの機会を増やし、虐待に繋がる可能性がある些細な事にも目を向け、「身体拘束ゼロ」「虐待ゼロ」に取り組む。

オ 面会制限の中で、家族の不安や情報不足もあることから情報提供を緊密に行い、信頼関係の構築に努める。

(3) 介護事故予防の推進

ア ICT（情報通信技術）や福祉用具を活用し、介護事故を未然に回避することにより、安心して安全な介護を行う。

イ 危険予知訓練(KYT)を実施するとともに事故発生時には速やかに検証する。また、リスクマネジメント委員会においては、多職種が様々な角度から要因等を検討し再発防止を図る。

(4) 経営改善・基盤の確立

ア 稼働率94%を目標として運営を行う。

イ 業務の見直しを都度行うことで、効率的な物品の使用、節電、節水に努め、適切な予算管理に繋げる。

ウ 入院の長期化回避のため異常の早期発見・早期治療に努める。

エ 入所申し込みが低調なことから地域連携室・居宅介護支援事業所・地域住民へのPR活動に努める。

(5) 地域における公益的な取り組みの推進

ア 地域社会における共生を念頭に、地域住民、ボランティア等を受け入れ、福祉に対する理解や啓発を図るとともに「高齢者サロン」へ専門職員を派遣する。

イ 認知症の方やその家族など地域住民を対象とした喫茶コーナー「カフェはごろも」を開催するとともに、在宅で介護する家族の介護相談会を実施する。

ウ 「交流ホール」、「はごろもホール」が地域住民の活動の拠点となるようPR活動を行い利用促進を図る。

エ 災害時等の地域住民の避難場所として「はごろもホール」を提供し支援に努める。